

# はじめに



このたび、平成28年度から平成37年度までの米子市のまちづくりの方向性を示す「第3次米子市総合計画」を策定しました。

本市では、平成17年3月の合併後、平成18年6月に「新米子市総合計画」を、平成23年7月に「第2次米子市総合計画」を策定し、市の将来像に掲げた「生活充実都市・米子」の実現をめざして、市民のみなさんと一体となって、まちづくりに取り組んでまいりました。

しかしながら、現在、わが国においては、少子高齢化の進展に加え、人口減少社会の到来という歴史的な転換期を迎えています。また、社会経済のグローバル化や高度情報化社会の進展、これまでの想定を上回る甚大な自然災害の発生、さらには、地球規模での環境問題の深刻化など、社会経済情勢は予想を上回るスピードで変化しています。

このような状況のなか、本市におきましても、時代の変化や新たな課題に柔軟かつ適切に対応し、多様化する地域課題や市民ニーズに的確に対処するなど、未来にむかって、持続可能なまちづくりを進めることが求められています。

このたび策定した第3次米子市総合計画では、市民のみなさんが主体となったまちづくりを進めることを基調とし、「地域経済の活性化」や「子育て支援・高齢者福祉などの充実」、「教育文化の振興」、「安心・安全で快適で住みよい環境整備」など、本市のまちづくりを総合的かつ計画的に行うことによって市の将来像「生活充実都市・米子」をさらにステップアップさせることといたしました。

本市は、平成27年に経済産業省が作成した地域の暮らしやすさを貨幣価値で示す「地域の生活コスト『見える化』システム」の46通りの条件設定のうち、23通りの組み合わせで全国第1位となりました。市の将来像「生活充実都市」の実現にむけ、市民のみなさんと手を携え、本計画に掲げた各種施策の推進に努め、「暮らしやすさ日本一」の評価をさらに高めてまいりたいと考えておりますので、引き続き、市政へのご理解とご協力、まちづくりへのご参加をよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、本計画の策定にあたり、市民アンケートやまちづくりワークショップへの参加などを通じ、貴重なご意見・ご提言をいただきました市民のみなさま、長期にわたりさまざまな視点で熱心にご審議くださいました総合計画審議会委員のみなさま、市議会議員のみなさまなど、ご協力をいただきました関係各位に心から厚くお礼申し上げます。

平成28年3月

米子市長 野坂康夫

